



2022年10月14日

各位

会社名 JNSホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 池田昌史
(コード番号: 3627 東証プライム)
問合せ先 専務取締役経営管理部長 中野隆司
(TEL. 03-6838-8800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年4月14日に公表しました2023年2月期(2022年3月1日～2023年2月28日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

2023年2月期通期連結業績予想の修正(2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,600	百万円 260	百万円 250	百万円 180	円 銭 15.08
今回修正予想(B)	9,600	210	300	200	16.91
増減額(B-A)	—	△50	50	20	
増減率(%)	—	△19.2%	20.0%	11.1%	
(参考)前期連結実績 (2022年2月期)	9,550	516	433	353	29.54

2. 修正の理由

ライフデザイン事業においては、キャラクターコンテンツ事業の拡大に向けて昨年7月にNintendo Switchソフト【クレヨンしんちゃん『オラと博士の夏休み』～おわらない七日間の旅～】を日本国内で発売しましたが、今期においては、事業拡大に向けて海外展開を進めており、2022年5月に発売した台湾・香港・韓国へ向けたアジア向けフルローカライズ版をはじめとし、米国・欧州向けの多言語に対応した欧米版やPCゲームプラットフォーム「STEAM」での世界同時発売などの多言語化、多プラットフォーム化を積極的に行っております。上期においては、特にアジア向けフルローカライズ版が当初予想より順調に推移しており、ライフデザイン事業は現時点で期首に公表した予想値を上回るセグメント利益を計上しております。

一方で、中国の深圳に製造拠点を置くコネクテッドソリューションセグメントにおいては、急激な為替変動により原価上昇等の影響を受けており、為替予約等の対策を行うことで対応をしていますが、メーカー事業に

おける原価率の上昇やODM事業において想定していたセグメント利益の一部が為替差益として経常利益に計上されるといった状況になっております。

また為替の動向は、ベトナムにオフショア開発拠点を置くビジネスイノベーション事業においてもコスト増として影響を及ぼしております。

上記複合的な理由により、連結利益予想を見直し、営業利益を下方修正、経常利益については上方修正を行い、これに伴い親会社株主に帰属する当期純利益についても上方修正をいたします。

なお、利益予想見直しにあたっては、下期の為替レートを上期末と同準として為替差損益については0として設定しております。下期において、著しい為替変動が起きた場合、営業利益の変動や為替差損益の発生等が起こる可能性があります。これにより見通しが変わった場合は速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上